

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月12日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 感動創造支援 (氏名) 三田 則男 (TEL) 052-551-0274
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,530	—	127	—	131	—	81	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	152.01		—					
26年3月期第2四半期	—		—					

(注) 当社は、平成26年9月1日付けで連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しております。そのため前第2四半期累計期間については、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,085	3,682	72.4
26年3月期	4,864	3,663	75.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,682百万円 26年3月期 3,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の期末配当金には記念配当10円00銭を含んでおります。

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	—	130	—	133	—	82	—	153.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	540,000株	26年3月期	540,000株
27年3月期2Q	8,761株	26年3月期	1,201株
27年3月期2Q	533,417株	26年3月期2Q	538,860株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、第1四半期累計期間までは、連結業績等を開示しておりましたが、平成26年9月1日付けで連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 参考情報	8
前第2四半期連結損益計算書	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策の効果により、公共投資の増加、雇用・所得環境の改善など明るい兆しが見られるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や世界経済の下振れの影響等もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、サービスの一層の充実を推進し、ご満足いただける映画・商品のご提供をすることで、お客様の「感動の創造」に努めてまいりました。また、より一層の経営の効率化を図るため、9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併いたしました。なお、当該吸収合併に伴い中日本商事株式会社が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の4月から8月までの業績については、当第2四半期累計期間には含まれておりません。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は15億30百万円、営業利益は1億27百万円、経常利益は1億31百万円、四半期純利益は81百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しているため、事業の状況における前年同期との比較に関する事項についての記載は行っておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【シネマ事業】

シネマ事業におきましては、邦画では「るろうに剣心/京都大火篇」、アニメでは「アナと雪の女王」、洋画では「マレフィセント」等の話題作を上映いたしました。その結果、売上高は14億52百万円、セグメント利益は1億29百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

リラクゼーション事業におきましては、近隣企業等への営業活動など販売促進の強化を図り、客数を伸ばす施策を積極的に実施してまいりました。しかし、客単価の減少に加え、光熱費の値上げ等が影響し、厳しい状況で推移いたしました。その結果、売上高は59百万円、セグメント損失は4百万円となりました。

【アド事業】

アド事業におきましては、サイン工事や映画関連の宣伝材料の受注力強化に努めました。その結果、売上高は18百万円、セグメント利益は2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は50億85百万円となり、前事業年度末に比べ2億20百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債は14億3百万円となり、前事業年度末に比べ2億1百万円の増加となりました。これは主に買掛金の増加によるものであります。

純資産は36億82百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年8月8日に公表いたしました業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日別途開示する「平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,010	692,271
売掛金	74,113	95,782
有価証券	210,189	210,219
商品及び製品	4,221	8,416
前払費用	22,674	23,781
預け金	75,920	46,328
繰延税金資産	5,929	20,846
その他	1,223	100,307
貸倒引当金	△571	△747
流動資産合計	872,712	1,197,205
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,987,695	1,940,769
構築物（純額）	68,038	60,987
機械装置及び運搬具（純額）	171,274	180,916
工具、器具及び備品（純額）	47,180	71,690
土地	669,168	669,168
建設仮勘定	5,644	5,644
有形固定資産合計	2,949,001	2,929,176
無形固定資産		
電話加入権	861	1,147
ソフトウェア	31,588	41,170
無形固定資産合計	32,449	42,318
投資その他の資産		
投資有価証券	256,243	278,562
関係会社株式	45,000	-
関係会社長期貸付金	115,000	-
差入保証金	589,336	632,826
長期前払費用	6,203	5,373
貸倒引当金	△1,150	-
投資その他の資産合計	1,010,633	916,762
固定資産合計	3,992,085	3,888,257
資産合計	4,864,797	5,085,463

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,106	282,680
1年内返済予定の長期借入金	131,196	131,196
リース債務	29,362	37,080
未払金	3,322	6,248
未払法人税等	20,953	48,376
未払消費税等	14,907	3,387
未払費用	32,857	43,611
従業員預り金	2,047	2,766
役員賞与引当金	4,500	-
賞与引当金	7,823	13,950
その他	24,593	149,666
流動負債合計	477,670	718,963
固定負債		
長期借入金	219,092	153,494
リース債務	91,938	99,515
退職給付引当金	48,012	63,726
長期未払金	35,800	40,000
資産除去債務	49,885	53,075
受入保証金	236,460	224,064
繰延税金負債	42,410	50,262
固定負債合計	723,598	684,138
負債合計	1,201,269	1,403,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	415,337	393,785
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	432,130	513,217
利益剰余金合計	3,294,967	3,354,502
自己株式	△10,983	△66,031
株主資本合計	3,553,998	3,558,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109,529	123,877
評価・換算差額等合計	109,529	123,877
純資産合計	3,663,528	3,682,361
負債純資産合計	4,864,797	5,085,463

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
売上高	1,530,237
売上原価	815,642
売上総利益	714,594
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	16,592
人件費	171,464
賞与引当金繰入額	8,985
退職給付費用	1,642
減価償却費	73,997
地代家賃	161,044
水道光熱費	40,674
修繕費	1,323
その他	111,080
販売費及び一般管理費合計	586,805
営業利益	127,789
営業外収益	
受取利息	1,127
受取配当金	2,476
貸倒引当金戻入額	1,160
その他	3,657
営業外収益合計	8,423
営業外費用	
支払利息	3,311
その他	1,726
営業外費用合計	5,037
経常利益	131,175
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	3,455
特別損失合計	3,455
税引前四半期純利益	127,719
法人税等	46,633
四半期純利益	81,086

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,452,192	59,672	18,372	1,530,237	—	1,530,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,452,192	59,672	18,372	1,530,237	—	1,530,237
セグメント利益又は損失(△)	129,969	△4,538	2,358	127,789	—	127,789

(注) 1. 当第2四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計期間については、記載しておりません。

2. 平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことに伴い、中日本商事が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の4月から8月までの業績については、当第2四半期累計期間には含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 参考情報

前第2四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,742,756
売上原価	840,798
売上総利益	901,957
販売費及び一般管理費	820,872
営業利益	81,085
営業外収益	6,825
営業外費用	5,529
経常利益	82,381
特別利益	43,518
特別損失	218
税金等調整前四半期純利益	125,681
法人税等	48,064
少数株主損益調整前四半期純利益	77,616
四半期純利益	77,616